

パーム油のRSPO認証 促進提案

Climate Youth Japan 和田優希



パーム油生産の現状と課題

生産量：マレーシア、インドネシアを始め、その他タイなど東南アジア圏での生産が多い

◎当該地域では**急速な農園の拡大・不適切な農園経営**により様々な環境・社会問題が生じている

- 熱帯林、泥炭湿地林などの伐採
- 森林火災・泥炭火災
- 生物多様性の損失
- 気候変動
- 土壌浸食、汚染など
- 劣悪な労働環境や児童労働

参照：WWF JAPAN RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)認証について

<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3520.html>

現在行われている取り組み

◎RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)における認証制度

- ・生産から流通まで第三者が監視し、持続可能なパーム油を認証
- ・生産段階での認証（P&C認証）とサプライチェーン段階での認証（SC認証）が存在する
 - 【P&C認証】農園の運営が環境や人権に基づく原則と基準に沿って行われているか
 - 【SC認証】製造や流通の段階できちんと管理されているか
- ・準会員含め、日本からは157社がRSPOに加盟（2019.8現在）

現在行われている取り組み

◎JaSPON（持続可能なパーム油ネットワーク）

- ・ パーム油生産における様々な問題の解決を目指し、日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費を加速させる
- ・ 認証パーム油の調達に関する情報収集や情報提供、調達と消費を促進する活動など
- ・ 理事会：15社、正会員：30社、賛助会員：11社と、参加企業は多くない

パーム油のサプライチェーンモデル

①アイデンティティ・プリザーブド（IPモデル）

ある“S&C認証農園”から得られた認証パーム油が、他のパーム油と隔離されながら受け渡される
→認証パーム油を生産した農園を特定できるが、非認証パーム油も使用していることになる

②セグリゲーション（SGモデル）

複数の“S&C認証農園”から得られた認証パーム油だけが受け渡される
→生産農園を1つに特定できないが、認証パーム油のみであることが保証される

パーム油のサプライチェーンモデル

③ マスバランス（MBモデル）

製造段階で認証パーム油と非認証パーム油が混合される
→非認証パーム油も混ざっている

④ ブック・アンド・クレーム（B&Cモデル）

認証パーム油のクレジットが生産者と最終製品製造者・販売者との間でオンライン取引される
→認証生産者を支援する形だが、使用しているのは非認証パーム油

サプライチェーンモデル	IP アイデンティティ・ プリサーバード	SG セグリゲーション	MB マスバランス	B&C ブック・アンド・ クレーム
使用可能なロゴマーク				
表記(例)	認証された持続可能なパーム油が含まれています	認証された持続可能なパーム油が含まれています	認証された持続可能なパーム油の生産に貢献しています	認証された持続可能なパーム油の生産を支持しています
トレーサビリティ	◎	○	△	×
認証油購入費用	¥¥¥¥	¥¥¥	¥¥	¥
会員要件	RSPO 正会員および準会員			

参照：<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3520.html>

パーム油のサプライチェーン上における疑問点

◎IPモデルでは一箇所の認証農園しか対象にしていないのに、なぜ複数の認証農園から仕入れているSGモデル(多くの認証農園を支援していることになる)よりも格が高いのか。

◎SGモデルでは農園の特定ができないからという理由なら、
そもそもP&C認証に信頼が置かれていないということになるのではないか。
→P&C認証がきっちりしていればどこの農園のものか特定できなくてもよいのでは？

RSPOの課題

- ◎生産地の**P&C認証率が低い**(世界で生産されているパーム油のうち認証を受けているのは約19%)
→認証に費用がかかることも理由の一つだと考えられる。
- ◎最も大切なのは農園のP&C認証を進めることのはずだが、現在の4つのSC認証モデルの区別の仕方、格付けでは**全体としてP&C認証を進めることにはならない**
- ◎SCモデルは非常に**ややこしく不透明**であり、結局消費者はよくわからないまま商品を購入する
- ◎**認証パーム油の調達率が100%に達している企業は数社**しかない
(「2018年実績による環境・社会面に配慮したパーム油の日本企業スコア」より)

官民連携の取り組み提案

●農水省

- ・ 農園におけるP&C認証の推進(費用を補助する,現地の環境整備等)に取り組む企業に対して支援を行う
- ・ 企業に対してSC認証の手数料を負担し、認証パーム油の普及を推進する
- ・ RSPOの認証制度について第三者視点で定期的に見直しを行う

●企業

- ・ RSPO、JaSPONに加盟する
- ・ Earthworm Foundationと協働するなどして農園の支援を行う

